

# 光を北方から

令和6年度学校だより第1号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 野本 雅明

令和6年4月26日

子どもたちの心に響く、心に感じる教育を

北海道旭川盲学校長 野本 雅明

例年になく雪が多く、雪解けの遅かった旭川にも、ようやく春らしい陽気が見られるようになってきました。道路脇に残っていた雪山もほとんどなくなり、学校周りの木々も少しずつですが芽吹き始め、春の息吹を感じております。

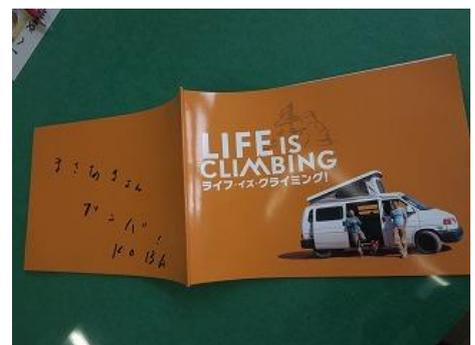
そんな春を迎えた旭川盲学校も、令和6年度の学校生活がスタートしております。4月8日(月)に入学式が行われ、小学部に2名の新生を迎え、今年度は幼稚部2名、小学部5名、中学部4名、全校幼児児童生徒11名でのスタートとなります。ここまでのところ新学期が始まって3週間ほどとなりますが、新しい環境に少々戸惑うのでは・・・というこちらの心配は杞憂に終わり、初日から元気いっぱい、明るい声が学校中に響き渡っております。各学部、学年ごとの新しい学習もスタートし、それぞれの学習課題や運動、遊びに取り組んでおります。毎日、子どもたちの様子を見て回りますが、皆真剣な表情で学習に取り組んでおり、新学期にける思いを感じます。新学期の船出としては上々ではないでしょうか。今後も、子どもたちの主体的な学びを引き出し、成長を支えていけるよう指導に努めていきたいと考えております。

さて、話は変わりますが、この3月に全盲のクライマー小林幸一郎さんを追ったドキュメンタリー映画「LIEF is CLIMING (ライフ イズ クライミング)」の上映会と本人によるトークショーのイベントに参加してきました。映画は冒頭、この言葉から始まります。

「世界で最も素晴らしく、最も美しいものは、目で見たり手で触れたりすることはできません。それは、心で感じなければならぬのです。 ヘレン・ケラー 」

映画は掛け値なしに面白く、手に汗握る映像と、小林さんとガイドの“ナオヤさん”との友情を描く、大変すばらしい映画でした。それは「障がい者」だからとか、「全盲」だからとかではなく、一人の人間としてその生き様に共感できる、感動できる映画でありました。映画のクライマックス、アメリカの「フィッシャー・タワーズ」を登り切ったときに、自然と映画館の中で拍手が起こりました。映画好きで、長く映画を見てきた私も、劇中に拍手をしたのは初めての経験でした。その後のトークショーも、小林さんの人柄がにじみ出る、笑いあふれる温かいトークショーでありました。冒頭のヘレン・ケラーの言葉にもありますが、目で見ただけ、耳で聞いた話ではありましたが、心が震えた、心で感じた映画、そして経験でありました。

令和6年度の学校生活もスタートしましたが、子どもたちは多くのことを学び、経験し、大きく成長していくことでしょう。ただ、それは単に知識、経験知が増えたということだけにとどまらず、子どもたちの心に響く、心に感じる学び、経験となることが大切であると考えます。学校での学び、経験が、子どもたちの確かな力と、豊かな心の成長につながるよう、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします。



映画のパンフにサインをいただきました。  
「まさあきさん ガンバ! KOBA」

## 令和6年度入学式

今年度は、4月8日（月）に小学部2名の新生を迎え、入学式が行われました。新生と在校生の保護者の皆様や来賓の方にたくさんの拍手をいただき、とても温かな雰囲気の中で行うことができました。在校生は、歓迎の言葉や「Believe」を歌って、新生を迎えました。新生も進級した在校生も、皆さん早く新しい環境に慣れ、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。



小学部1年生2名

## 幼稚部

今年は年中（4歳児）「こあらぐみ」として、一つお兄さんになってスタートした2名です。始業式では「みんなにやさしく じぶんにきびしく」と目標を発表しましたが、保護者席からは「幼稚部なら、まだ自分にやさしくても良いのでは・・・」と声が上がっていたそうです。（笑）

まだまだ可愛いという言葉がぴったりの「こあらぐみ」ですが、好きなことや自分でできることを増やして、今年もいろいろなことにチャレンジして行ってほしいと考えます。昨年度できなかった幼稚園との交流や、札幌と帯広の盲学校をオンラインでつないだ交流も継続し、人とのつながりも広げていきたいと思います。



## 小学部

今年度の小学部は1年生2名が入学し、2年生1名、3年生1名、5年生1名の5名となりました。

1年生にとっては、学級通信のタイトルどおりの「わくわく」の連続で、探索活動や先生方の様子を伺いながら自分の思いを全力で伝える場面などがたくさん見られました。「ichiban 星」という通信のタイトルは2組です。勉強にも意欲的でパーキンスプレーヤーにも挑戦しています。タイトルのように、光り輝く星を目指して頑張る姿を期待します。スワヒリ語で「ゆっくりゆっくり」という意味の「ポレポレ」というタイトルは3組です。新しい先生方と一つずつ関係性を築き、学部のお兄さん、お姉さんとして成長して行ってほしいと願います。

笑顔いっぱい、思い出いっぱいの1年になるように、子供たちを支えていきます。1年間、よろしく願います。



## 中学部

今年度の中学部は総勢4名となりました。2年生は男子2名、女子1名の3名学級です。2年生は、進級してまもなく、みんなで話し合い、今年度の学級目標が「笑顔・仲良く・チャレンジ」に決まりました。この目標の実現に向けて、一人一人が力を合わせて支え合いながら学びと絆を深めてほしいと思います。3年生は男子1名の学級です。教室は同じ場所となりますが、学級担任を始めとして周りの指導者が替わっています。いろいろな指導者との関わりを通して、環境の変化を受け入れられるように将来を見据えて取り組んでいます。今年度は、この4名の生徒一人一人が自分に合った学びの場で頑張りを積み重ね、また、行事や学習活動では力を合わせてみんなでやり遂げる1年になるように支援したいと思います。今年度も、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。



## 転入のご挨拶

令和6年4月1日付けにて本校に着任した教職員の挨拶です。

### 野本 雅明（のもと まさあき）校長

北海道森高等学校から着任いたしました、校長の野本雅明と申します。道内あちこちで勤務しておりますが、道北、旭川での勤務はこれが初めてとなります。街中から見える大雪山系の山々の美しさ、石狩川にかかる旭橋と夕焼け、そして旭川盲学校の子どもたちから、パワーと癒しをもらっています。美しく、パワーと癒しあふれる街、旭川。今は旭川にキュンです！

### 桶谷 茂樹（おけや しげき）教諭

北海道札幌視覚支援学校から赴任しました桶谷茂樹と申します。義務校は久々ですが、みなさんと一緒に勉強や運動をすることをとても楽しみにしてきました。いろいろとご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、一日も早く学校に慣れ、児童生徒が楽しく活動できるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

### 入田 貴広（いりた たかひろ）教諭

南幌養護学校より赴任しました入田貴広と申します。4年間南幌町で単身赴任生活をしていましたが、この度縁があり旭川に戻ってくることになりました。今までの教員生活では、知的障害の養護学校での勤務経験しか無く、盲学校での勤務は初めてとなります。早く環境にも慣れ、児童生徒と楽しく学習することができるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

### 夏井 堂臣（なつい ただおみ）教諭

雨竜高等養護学校から参りました、夏井と申します。小学部1組担任のほか、小学部と中学部の皆さんと音楽の学習をします。歌うこと、楽器を演奏すること、踊ることが大好きで、児童生徒の皆さんとも、楽しく授業をさせていただいています。元気いっぱい、真剣に活動に取り組む盲学校の児童生徒の皆さんが大好きです。1日も早く新しい環境に慣れて、みなさんの力になれるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

### 徳能 一喬（とくのう かずたか）教諭

初めまして、今年度から新採用として参りました徳能一喬と申します。小学部と中学部の体育の授業をします。先日大学を卒業し、何もかも初めてでわからないことばかりですが、1日でも早く教師という仕事に慣れていき、子どもたちの皆さんと積極的に関わりながら仲良くしていきたいと思っています。また、「コツコツは勝つコツ!」をモットーに精一杯努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

### 石森 国秀（いしもり くにひで）栄養教諭

こんにちは。北海道釧路養護学校から参りました栄養教諭の石森です。実は、昨年5月～9月まで約5ヶ月間本校に在籍していました。昨年のことを思い出して1日でも早く皆さんの力になれるように精一杯頑張ります。私自身は、ほとんど好き嫌いはなく何でも美味しいと食べてしまいます。子どもたちにも色々な味に触れてもらい、すくすく成長していくためのサポートをしていきたいです。よろしくお願いたします。

### 中村 裕美（なかむら ひろみ）事務職員

今年度より事務補助に着きました中村裕美と申します。令和4年度にスクールサポーターとして旭川盲学校で勤務しておりました。新たな気持ちで頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

○「学校だより」は、年4回の発行です。

○今後も学校の様子は学校ホームページにてお知らせしていく予定です。本校のホームページをご覧いただき、ご感想やご意見をいただければと思います。

旭川盲学校ホームページアドレス

<http://www.kyokumo.hokkaido-c.ed.jp/>

### 子ども相談支援センター

- いじめられて、こまっている
- がっこうにいきたいのに、いけない
- だれかに、きいてほしい

子ども相談支援センターでは、いじめや不登校、性的マイノリティなどに悩む子どもたちや保護者からの相談を受け付けています。

メール相談

[sodan-center@hokkaido-c.ed.jp](mailto:sodan-center@hokkaido-c.ed.jp)

電話相談

0120-3882-56